

令和7年度 米原市小学校視聴覚部会 研究報告

(1) 郡市名 米原市

(2) 研究テーマ

教育メディアが拓く、豊かな感性、そして確かな学びと生きる力へ
～思考を整理するためのICT活用・問いを立てるためのICT活用～

(3) 研究組織

支部長 米原市立米原小学校 教頭 田中 貴之
研究委員 米原市立息長小学校 教諭 馬淵 大輔

(4) 年間事業

5月：第一回部会（書面開催）研究主題、活動内容確認

7月～11月＊ICT研修への参加

＊GIGAスクール構想に関わる端末体験会（クロームブックの体験会）

＊ICT活用講座（米原市ICT調査部会）

(5) 取り組み（米原市ICTに関する調査研究部会実践報告より）

<p>テーマ</p> <hr/> <p>①思考を整理するためのICT活用</p> <p>②「問い」を立てるためのICT活用</p>	<p>①情報や思考を整理するためのICT</p> <p>★主に、国語科や総合的な学習の時間で取り組んだ実践</p> <p>◎情報を読み取ること、集めること</p> <p>△集めた（読み取った）情報の比較、整理、</p> <p>△集めた（読み取った）ことをまとめる、文章にする</p> <p>課題としている2点に関して、 ・友だちと学び合いながら、上記の課題を改善する手立てとしたICT活用（個人差を埋める手立て）</p>
---	--

①思考を整理するためのICT活用

新聞

ニュースサイト

変化後の方法

変化前の方法

5班

①思考を整理するためのICT活用

フィッシュボーン図 文章構成

①現状・問題・課題

②取り組み

③自分たちでできること

児童の様子・変容

①学力的に低位な児童、学習に取り組みにくい児童が、分かるところから取り組み、友だちとの対話や交流を踏まえて課題に取り組めた。

②共通のシンキングツールに、グループで取り組むことで自然と対話が生まれた。

③繰り返して使用することで、ツールを効果的に使うことができるようになった。

5

②より良い「問い」を立てるためのICT活用

★社会科の授業において
 ・単元を通した「問い」や「学習問題」が教師主導になっている
 →子どもの興味、関心によりコミットした、より良い学習問題（問い）を建てるためにICTが活用できないか。

★校内OJTと絡めて、教科担任制をしている社会科の授業から、子どもの疑問、関心によりコミットした学習問題作りをめざした。

6

②より良い「問い」を立てるためのICT活用

・始めは、XチャートやYチャートを使って、疑問や問いを都一角出すことから始めた。
 見る視点もこちらからある程度示す。



7

②より良い「問い」を立てるためのICT活用

・たくさんの問いや疑問を出し、それを自分たちで整理したり分類したりできるようになってきた。
 ・疑問や問いから、「より深めたい、知りたい」という視点で学習問題を考えることができるようになってきた。



8

児童の様子

①問いをたくさん出せるようになった。学びの視点や、資料を見る視点を次に活かせるようになった

②考えた学習問題や問いから、より考えごたえがあるもの、学習内容に沿うものを吟味できるようになった。

9

まとめ

★ICT活用の実践 成果と今後の課題

◎学び合いを支えるツールとしての活用
 ◎学力の保証や、学習参加の機会

△書くこととのせめぎ合い
 △マンネリ化
 △子どもも教員も個人差あり

10